

TNBだより



令和7年1月号

問題解決へのプロセス ～社会性が未熟な子どもたち～

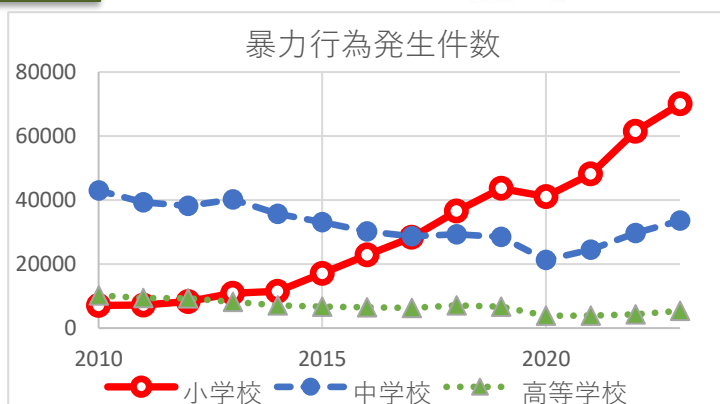
新年が明け、本年度の総括や次年度の計画を検討される時期かと思えます。そこで、問題行動の対応について、各校で伺った取組を整理して解決へのプロセスをまとめてみました。次年度の生徒指導計画の参考にしていただければと思います。



人とのつながりにつまづく子どもたち

承認欲求が強く感情のコントロールが苦手な子どもの様子を多くの学校で伺っています。やりたいことを止められると衝動的な暴力になる場合もあります。そうした子どもが複数名いると、誰が担任になっても大変な学級になります。また、特別支援学級や小学校低学年でも、別室登校や不登校が見られます。

人との関係をうまくつくりだせない子どもが増加しているように感じます。



(文部科学省調査から作成)

問題行動を解決するためのプロセス

1 年度当初の体制づくり

年度当初に全教職員で確認しておきたいこと

- ① 暴力行為には《止める → 離す → 静めて聞く》を組織的に行うことが基本
- ② 問題がない時から、対立や責任論にならない関係を保護者とつくっておく

学校の考えや願いを保護者・子どもに知らせる

- ① 暴力行為や暴言があった時の対応や協力依頼を、年度当初家庭に配付する
- ② 暴力は認めないという意思を全教員で子どもたちに伝える

問題行動の発生を前提に、全教職員で迅速に組織的対応ができるようにしておく

問題発生時の対応の優先順位や組織的な動き方を校内マニュアルで共有する

2 問題行動を未然防止するために

子どもの課題を理解して関わる

- ① 発達障害や愛着障害等の特性や心情を理解し、支援方法を研修する
- ② スタートカリキュラム、SST等、安心感やつながりをつくる取組を進める

落ち着ける空間だけでなく、授業の活動の中に居場所をつくる

- ① 学ぶ力がまだ育っていない子どもが楽しいと感じる授業をつくる
- ② 子ども同士が互いを尊重し合う学習活動を入れた授業を行う

3 暴力行為が発生した時の即時対応

見立て（アセスメント）を行う
<ul style="list-style-type: none"> ① 専門家を交えたケース会議等、多角的な視点で考える場を設ける ② 子どもの背景（環境・特性）や強み（得意・関心）を明らかにする ③ 共通の目標を持って、具体的な役割分担を検討する
暴力行為には教員全員が最優先で対応して、安全保障を行う
<ul style="list-style-type: none"> ① 暴力行為への基本的な対応を再度共通理解して徹底する ② 家庭や周囲の子どもたちへの支援を再検討して具体化する
※ 保護者トラブルを防ぐ初期対応は、「TNB 令和4年9月号」をHPで参照ください。



4 状況に合わせた段階的な関わり

子どもの自律を促す段階
<ul style="list-style-type: none"> ① 信頼関係がある教員（キーパーソン）が子どもと一緒にルールを考える ② 全教員でルールを共有して、同じ対応をする。キーパーソンに情報集約する ③ 学級で、SST、ストレスマネジメント、心のサポート授業等を実施する
仲間づくりをする段階
<ul style="list-style-type: none"> ① 子どもが興味のあることを少数の仲間と活動できる環境を整える（活動内容・時間・場所・支援教員）
集団への参加を促す段階
<ul style="list-style-type: none"> ① 自分だけできない状況や苦手なことに恐怖感があることを理解して支援を行う ② 基地になる教員や支援する仲間を配置して集団への参加を試みる

5 子どもの対応力を育てる

ストレスチェックを活用する
<ul style="list-style-type: none"> ① 子ども自身が、自分の心を考える学習に活用する ② 教員が、子どもとの個別の教育相談に役立てる
困ったことを人に打ち明け、頼り、自制する力を育てる
<ul style="list-style-type: none"> ① 言語化できない低学年は遊びや活動を通して個別の対話を深める ② 指導ではなく聴くことを意識した教育相談を行う



6 暴言から教職員の心を守る研修

攻撃してくる相手を知る研修
<ul style="list-style-type: none"> ① 攻撃行動の背景や心理を理解して、言葉通りに受け止めない ② 攻撃性が高い人への関わり方、対応の仕方を学ぶ
ストレスから自分の心を守る研修
<ul style="list-style-type: none"> ① 自分のストレスやトラウマを軽減する方法を学ぶ



丹波教育事務所学校問題サポートチームは、不登校や暴力等の未然防止、主体的に子どもがつながる授業づくり、特別な支援を要する子どもへの関わりや校内体制、心の不調の防止等に、学校支援を行っています。そうした課題の校内研修の講師もお受けしています。お気軽に声をかけてください。